

# 日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

7月18日 木曜日

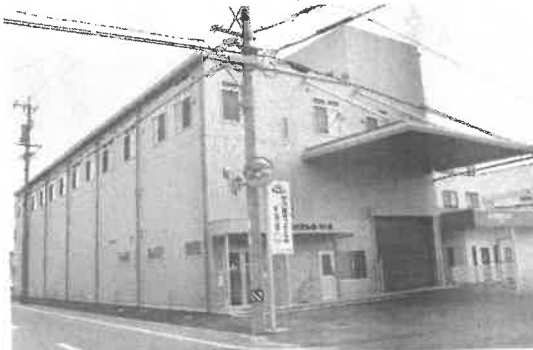
2024年(令和6年)

## 中日本カプセル、新倉庫稼働

### 健康サプリOEM受注増

中日本カプセル(岐阜県大垣市、山中利恭社長)は、健康サプリメントのOEM(相手先ブランド)生産を主力とする本社工場に、事務所を兼ねた新倉庫棟「N1棟」を稼働した。国内大手顧客や海外向けの受注増で増える大口出荷に対応、新タイプの提案などによる今後の受注増にも備える。自動倉庫で作業効率を高めた。

N1棟は2階建てで延べ床面積は約870平方メートル。自動倉庫を備え、約350個のパレットを収納できる。倉庫には空調機能を持たせて温度や湿度



中日本カプセルの新倉庫棟「N1棟」

が一定の状態を製品を保管できる。事務所部分には総務などの管理部門が入り、商談室などのスペース

も増やした。同社はソフトカプセルやハードカプセルタイプの健康サプリメントのOEMを得意とし、2023年10月期の売上高は51億円。近年、国内の健康食品大手や海外メーカーからの受注が好調で、コンテナ単位の海外向けなど、大口の出荷が増えていく。新倉庫の稼働で作業効率を高めるとともに、高品質で保管ができる環境を整備し、顧客の信頼を高める。(岐阜)